

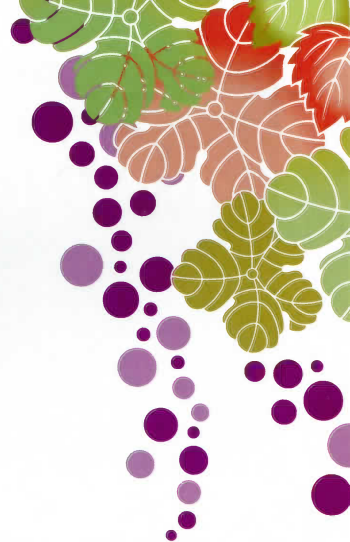
地底の森ミュージアム開館20周年記念

# 氷河期の森

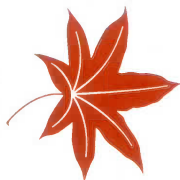
仙台市縄文の森広場開館10周年記念

# 縄文の森

# 見学会



# — 杜の都の原風景 —



## 平成28年10月1日(土)

対象 どなたでも

申込 不要(直接会場へお越しください)

雨天決行 動きやすい服装でご参加ください

第1部

**10:00~12:00**  
2万年前の針葉樹の  
森を復元した「氷河期の森」

第2部

**13:30~15:30**  
4千年前のムラとそれを囲む  
森を復元した「縄文の森」

会場 地底の森ミュージアム 研修室・野外展示「氷河期の森」

講師 鈴木 三男氏(東北大学名誉教授) 牧 雅之氏(東北大学植物園)

※入館料が必要です

会場 仙台市縄文の森広場 体験活動室・野外展示「縄文の森」

講師 鈴木 三男氏(東北大学名誉教授) 米倉 浩司氏(東北大学植物園)

※入館料は不要です

### 地底の森ミュージアム

(仙台市富沢遺跡保存館)

〒982-0012

仙台市太白区長町南4丁目3-1  
TEL 022-246-9153

アクセス  
地下鉄南北線 長町南駅 下車  
徒歩約5分



### 仙台市縄文の森広場

〒982-0815

仙台市太白区山田上ノ台町10番1号  
TEL 022-307-5665

アクセス  
宮城交通バス「南ニュータウン」「日本平」  
「秋保」茂庭台行きにて  
「山田・太白消防署前」下車 徒歩約5分



主催 仙台市教育委員会 (公財)仙台市市民文化事業団 仙台市富沢遺跡保存館

地底の森ミュージアム開館20周年記念 仙台市縄文の森広場開館10周年記念

# 氷河期の森 縄文の森 見学会 — 杜の都の原風景 —

## 第1部

### 地底の森ミュージアム

約2万年前の氷河期に当地に広がっていた湿地林を復元しています。植生復元の試みは発掘調査によって得られた多量の出土遺物の分析結果をもとに、亜寒帯性針葉樹林の植生を参考にして行っています。

主な植栽植物 アカエゾマツ グイマツ チョウセンゴヨウ ハンノキ



## 第2部

### 仙台市縄文の森広場

約4千年前の縄文時代中期末の3棟の竪穴住居と貯蔵穴などからなる縄文ムラのようなすを展示し、その周辺にこれまでの研究から推定される落葉広葉樹林の豊かな森を復元しています。

主な植栽植物 コナラ クヌギ クリ トチ



## 講師

鈴木 三男氏 東北大学名誉教授 研究分野: 植物形態学・考古植物学  
牧 雅之氏 東北大学植物園 研究分野: 植物系統分類学  
米倉 浩司氏 東北大学植物園 研究分野: 植物系統分類学

それぞれの野外展示について、復元の経緯や植栽植物を中心に、お話しいただき、あわせて見学を行います。

※第1部、第2部両方にご参加いただくこともできます。公共交通機関で移動される方は宮城交通バス「長町南駅・太白区役所前」4番乗り場をご利用ください(山田・太白消防署前で下車、徒歩約5分)。



この印刷物は、環境にやさしい「水なし印刷」[植物油インキ]を使用しています。このチラシはリサイクルできます。

## 地底の森ミュージアム

## 仙台市縄文の森広場

山田上ノ台遺跡の発掘調査で縄文時代の竪穴住居など、多数の遺構が発見される。遺跡の活用を図るための「(仮称)原始古代村構想」の検討がスタート

1980

地下鉄南北線建設にともなう調査で水田跡が発見され富沢水田遺跡として登録

1982  
1983

山田上ノ台遺跡第2次発掘調査

1984

富沢遺跡第30次の発掘調査において、2万年前の人類の生活跡と森林跡が発見される

1988

富沢遺跡と山田上ノ台遺跡をともに活用する方針で「仙台市旧石器の森・原始古代村の整備及び仙台市考古系総合博物館基本構想」が策定される

1989

正式名称「仙台市富沢遺跡保存館」愛称「地底の森ミュージアム」と決定

1995

11月2日開館

1996

山田上ノ台遺跡第3次発掘調査

2002

仙台市縄文の森広場の建設工事が始まる

2004

7月15日開館

2006



富沢博士



ハナちゃん

10月1日  
地底の森ミュージアム開館20周年  
仙台市縄文の森広場開館10周年  
記念見学会 開催

2016